

(様式 3)

平成 24 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

研究テーマ名称	科学広報と学術コミュニケーション
応募事業区分	事業枠①(C)「公募型共同研究」※旧：公募型共同研究事業
申請代表者氏名	平田光司

○ 研究状況報告

本研究事業は、①学問の先鋭化問題に対して、科学広報・学術コミュニケーション及びその教育が担う役割、②発展途上の科学広報評価のあり方、③プレスリリースの今後の方向性、以上3つのテーマに焦点をあてて研究を推進してきた。また、今後の新しい「科学広報と学術コミュニケーション」活動・教育を議論する研究会を開催することにより、総研大と協力関係にある、基盤機関の広報担当者による上記テーマについての取組と各機関が抱える課題とその解決策について研究報告書にまとめた。

本研究事業の成果はさらに総研大レクチャー「科学コミュニケーション」で用いる教科書に反映していく予定である。

○ 当該事業年度において達成された研究成果

(研究報告) 総合研究大学院大学学融合・公募型研究報告書「科学広報と学術コミュニケーション」(2013)

(学会発表) 倉田 智子「大学生向け実写科学映像制作ワークショップの設計と実施」
科学コミュニケーション協会 第1回年会 (2012)

○ 本研究を基に発表した論文と掲載された雑誌名等のリスト (論文があれば添付)

(執筆分担) 平田光司「科学コミュニケーション-科学と社会の視点から」国立天文台科学文化形成ユニット編「科学プロデューサ入門講座」(2012), pp. 51-68.

(招待講演) 平田光司「科学と社会を結ぶ」湘南国際村アカデミア「カフェ・インテグラル」
科学と社会、地域と社会を結ぶ 湘南国際村ルミエール 財団法人かながわ国際交流財団
2011年10月20日

(招待講師) 倉田智子 農研機構 広報関係研修「伝える技術」 2012年11月30日

(学会発表) 倉田智子「大学生向け実写科学映像制作ワークショップの設計と実施」
科学コミュニケーション協会 第1回年会 2012年12月2日

(招待講演) 森田洋平「Big Science and the Web -Higgs particle to Open Biology-」
平成24年度総合研究大学院大学国際シンポジウム「知の循環 -グローバル融合社会における情報循環ネットワークの創成」 2012年12月13日

(招待講師) 森田洋平「ビッグサイエンスと国際研究機関のPR戦略」筑波大学重点公開講座「大学・研究機関のパブリックリレーションズ-科学技術のPR戦略」 2013年1月12日

(様式 3)

平成 24 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

日

(招待講師) 眞山聡 神奈川県高等学校理科部会教職員物理研修会 2013 年 1 月 23 日